

# 議会だより しらおか Shiraoka



2 P 条 例・請 願

4 P 平成 30 年度 一般・特別会計補正予算

5 P 一般質問

12 P 委員会活動報告

14 P 審議結果

隼人橋から見える庁舎

※表紙のテーマは「白岡の隼人掘川」です。

No.202

2019. 2. 1

## 《12月定例会》

11月29日から12月19日までの21日間にわたって定例議会が開かれ、市長から提出された諮問2件、議案22件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。また、継続審査となっていた請願1件は、趣旨採択となりました。

### 空家等・空き地に関する条例を制定しました

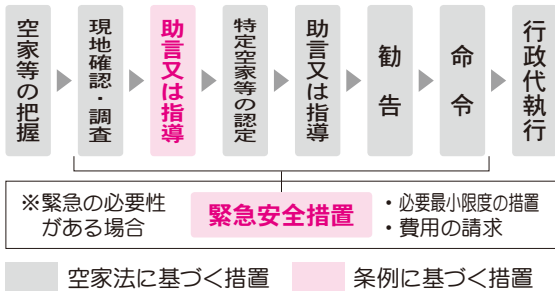
#### 空家等の適切な管理に関する条例

空家等対策の推進に関する特別措置法(空家法)に定めるもののほか、空家等の適切な管理および特定空家等の発生の予防に関し必要な事項を定めることにより、空家等が管理不全な状態になることを防止し、良好な生活環境の保全および防犯のまちづくりの推進を図り、安全で安心な暮らしの実現に寄与するため、制定するものです。



空家イメージ

#### 空家改善までの流れ



#### 空き地の環境保全に関する条例

空き地の適正な管理に関し必要な事項を定め、良好な生活環境の保全を図るため、条例を改正するものです。

**問** この条例では、農地も除外されていない。以前から農地の荒廃は、火災や病害虫の発生がいつでも起こりうると心配していた。農地については、個々の面積以上に連なる広大な荒廃地が心配であるが、それにはどう対処するのが。

**答** 2月1日現在、当市には約32haの遊休農地があるが、どの程度が本条例の対象になるかは把握していない。近隣に実質的被害が出ているなどの相談があった際は、その都度現地確認を行い、その所有者などに対し段階を踏み、空き地の適切な管理を促していく。

#### 空き地改善までの流れ



### 各条例の一部改正を行いました

コミュニティセンター条例では、販売行為などの営利行為を認めるなど、より市民に利用しやすい運営体制となります。

**問** 夏時間、冬時間の設定は。

**答** 舞台ホールの土日祝日は、従来どおりの区分で、夏冬時間の設定がある。それ以外の集会室については、そうした設定はない。

個人番号の利用に関する条例では、生活保護法に、進学準備給付金が創設されたため、個人番号の利用ができるよう追加します。

**問** 個人番号が必要となる範囲は、進学者のみか、世帯全体か。

**答** 被保護世帯の内、重度心身障害者医療に該当する者である。

市立保育所設置及び管理に関する条例では、多様化する保育需要に対応するため、市立保育所の収容定員と保育時間を拡大します。

**問** 0歳児の受入れを休止して問題ないのか。

**答** 今回の休止により、0歳児は合計9人の定員減となるが、31年4月開所予定の民間小規模保育事業所の0歳児定員が6人であるため、市内全体としては、差し引き3人の減となる。30年度当初では、0歳児および1歳児において供給が上回っていた状況からも、3人減の影響は少ないと考える。

**問** 日曜日や夜間の保育に対する、市の方向性についての考えは。

**答** 日曜日保育などの多様化する保育需要については、今回の土曜日保育の利用状況や保育士の体制などを勘案し、検討していく。



公民館条例では、中央公民館に併設されていた旧図書館が、30年10月に生涯学習センターへ移転したことにより、旧図書館の施設を新たに活用できるようになります。

**問** 旧図書館部分の改修工事について、空調機、照明およびコンセントの位置は、そのまま使用するのか。また、窓はどのようになるのか。

**答** 空調機は、そのまま使用する。コンピュー

夕の配線は、取り外し補強する。照明については、数が多いため、外して天井を補強する。コンセントについては、そのままの状態を使用する。また、窓は現状のままで使用するが、開け閉めに不具合があれば修理する。

## 市内3か所の施設の指定管理者の指定をしました

障害者デイサービスセンター  
↓  
社会福祉法人みぬま福祉会

**問** 随意契約ということだが、このまま継続するのか。今後見直すことは考えているか。

**答** 大きな苦情もなく、継続していく。

コミュニティセンターと西児童館  
↓  
白岡まちづくり共同事業体

**問** 「白岡まちづくり共同事業体」とは。

**答** 街活性室株式会社とNPO法人カローレで構成されている。

B & G海洋センター  
↓  
ワコー・旺栄グループ

**問** 消費税が10%に増税される際、利用料の改定を次期指定管理者と協議しているのか。

**答** 今回の見積書は、消費税増税分は考慮されていない。利用料の改定については市として全庁的に考慮するものとなる。

## 請願第1号の採択は

9月議会で継続審査となった、請願第1号東海第二原子力発電所の運転期間延長を行わないことを求める意見書に関する請願書については、委員会では、趣旨採択とし意見書は提出しない意見が多数を占め、本会議では、賛成多数で趣旨採択とし意見書は提出しないものとなりました。

討論

### 意見書を提出する

趣旨採択に反対する。①原子力発電による電気を利用している白岡市民も当事者。その生産過程と廃棄物の責任は避けられない。②脱原発・再生エネルギーと唱えていても進まない。今ここで、できることを始めよう。③請願者の声に真摯に応えるべきである。

討論

### 意見書を提出しない

脱原発の取組は賛成しますが、意見書の提出は地元自治体への配慮が必要不可欠であり、具体的な対策もなく観念的な訴えや脱原発の掛け声だけで意見を通すべきではないと考えます。当該請願は趣旨採択が妥当で、国会等への意見書提出には至らないと判断します。

## 一般会計補正予算

今回の補正予算は、予算総額に2億6,223万4千円を追加し、総額を148億4,306万1千円とするものです。

歳入の主なものは、市税、地方交付税、国庫支出金、県支出金、諸収入、市債などです。

歳出の主なものは、民生費、教育費、公債費などです。

**問** 東北道を所管するネクスコ東日本との調整の遅れにより、白岡宮代線完成スケジュールはどうなるのか。橋脚、橋桁、完成(開通)の見通しはどうなるか。

**答** 現時点のネクスコ東日本との打合せでは、東京オリンピック以降であり、市としては遅れることがないように両側の橋脚工事を先行して完了させることとしている。高速道路上の橋桁架設後、東西両側の工事を進めていく予定で、供用開始まで7年程度を見込んでいる。

**問** 元金・利子償還などの査定精度を上げるべきだが、無理なのか。対策はないのか。

**答** 元金償還金増加は、特段の理由がない限り大きな補正額が生じないものとする。利子の償還では、将来の借入時点における利率を予測し見積もりを立てている。性質上、補正額が生じるが、補正額を最小限にするため、金利動向を注視し、情報収集に努めていく。

## 特別会計補正予算

### 介護保険

今回の補正予算は、予算総額に3億4,815万6千円を追加し、総額を34億2,238万7千円とするものです。

歳入の主なものは、国庫支出金、支払基金交付金、繰入金などを増額するものです。

歳出の主なものは、介護保険給付費、地域支援事業費などを増額するものです。

**問** 介護給付費の増加の要因は、特定の人よりも多くの介護サービスを受けたことによるものか。それとも介護サービスを利用する人数が増えたことによるものか。

**答** 介護給付費の増加の要因は、利用者の増加と対象者一人当たりが利用するサービスの増加による両方と考えている。

**問** 介護予防・生活支援サービス事業費が、当初予算の約37%も増額しているが、サービス利用が増加したことによるものなのか。

**答** 28年11月から要支援者を対象とした総合事業が始まり、対象者が移行したため、利用者が増加した。総合事業が開始して1年間経過しない時期に、30年度の当初予算を編成したため、正確な利用者数が見込めなかった。

### 農業集落排水

今回の補正予算は、予算総額に9万3千円を追加し、総額を8,347万3千円とするものです。

歳入は、繰入金を増額し、歳出は、総務費を増額するものです。

### 公共下水道

今回の補正予算は、予算総額から457万5千円を減額し、総額を12億3,255万2千円とするものです。

歳入は、繰入金を減額し、歳出は、総務費を減額するものです。

### 白岡駅東部・中央土地区画整理

今回の補正予算は、予算総額から10万1千円を減額し、総額を2億2,260万9千円とするものです。

歳入は、国庫支出金を増額し、繰入金を減額するものです。

歳出は、総務費を減額するものです。

### 水道事業

今回の補正予算は、収益的収支については、支出を94万5千円増額し、10億1,612万6千円とするものです。

資本的収支については、支出を788万8千円減額し、3億4,555万円とするものです。

# Q&A

## 一般質問

# 市政のそこが聞きたい!

12月定例議会の一般質問は、13名の議員が31項目について行いました。

### ◆菱沼あゆ美 議員

- 学校施設における防災について
- 保健事業について

### ◆黒須大一郎 議員

- 太陽光の2019問題対応を急げ
- 認知症に対する支援体制の充実を
- その時どうするの。避難所運営と健康管理は
- 2030年(12年後)白岡の教育について

### ◆高木隆三 議員

- 犬猫の殺処分ゼロ対策を
- 結核対策について
- 乳幼児の家庭内事故について

### ◆江原浩之 議員

- 白岡駅西口線について
- 市の公共施設のマネジメントについて

### ◆井上日出巳 議員

- 行政評価制度について
- 農業問題について
- SAITAMA出会いサポートセンター(恋たま)について

### ◆大島 勉 議員

- ICT教育について
- 防災について

### ◆関口昌男 議員

- 生活困窮世帯の子どもたちの学習支援事業を小学生まで拡大を
- 国民健康保険財政のこれからについて

### ◆遠藤 誠 議員

- 市民農園に荒廃農地を保全することはできないのか
- アクティブシニア活躍支援事業後のシニアの受け皿について(シルバー人材センター、社会福祉協議会)
- 自分以外の「ふるさと」も尊重するなど

### ◆石原富子 議員

- 白岡高等学校を更に地域で盛り上げるために
- 手話言語条例の制定について
- 生涯学習センター(こもれびの森)の活用について

### ◆松本栄一 議員

- 多面的機能支払交付金事業について
- 生活道路の安全確保について

### ◆大倉秀夫 議員

- 小学生にランドセルの無償貸与を
- 白岡駅西口の開発計画について

### ◆渡辺聡一郎 議員

- 街の将来像を踏まえた計画的な道路整備を
- 大規模事業と財政計画について

### ◆斎藤信治 議員

- 授業のUD化推進を

※1人につき2項目までを要約して掲載しています。



菱沼あゆ美 議員  
(公明党)

## 問

小・中学校が避難所となるためには

災害時、小・中学校は避難所となる。地域住民のためや学校再開を考慮した施設開放・鍵の管理手法などを盛り込んだ「学校施設利用計画」を策定すべきではないか。また、体育館のエアコン設置と誰でも使える多目的トイレへの改修は、必然の備えと考えるがどうか。

## 答

学校施設の効果的な活用を図る

関係部署および各小・中学校と協議・調整しながら、教育活動の再開を見据えた学校施設利用計画を策定していく。体育館へのエアコン設置については、近隣市町の動向を注視する。体育館トイレについては、多目的トイレを含めた洋式化に向け努力する。

## 問

新生児聴覚検査に助成を

新生児1000人に1~2人の割合で発症する先天性難聴を早期発見・早期療育につなげるために、聴覚のスクリーニング検査がある。受診の現状は。また、久喜市が検査費用の助成を開始する。白岡市としても重要な検診であることから、助成をおこなってはどうか。

## 答

他市町の状況を注視していく

検査については、赤ちゃん訪問において確認しており、9割近くのお子さんが出産した産科医療機関で実施している。また、各健診において問診などを通じ聞こえの問題に関して早期発見に努めている。費用の助成については他市町の状況を注視していく。



**問** 10年後の教室を  
どうするのか

国は、EdTechをキーワードにAIなどIT技術を教育に活用し、『学びの生産性』の最適化を進めるとしている。遅れていないか。私たちが受けた教育をなぞっているのは、少子高齢化とAIの進んだこれからの社会に対応できる人材育成に繋がらない、今から対策を。

※ EdTech (エドテック) とは、Education (教育) と Technology (技術) からの造語

**答** 長期的な展望に立った  
計画が重要である

学びの生産性を高めるうえで、ICTを活用したEdTechは重要である。今後も国の施策を注視しながら、必要な環境の整備を進めるとともに、市教職員で組織された情報教育推進委員会を中心に、長期的な展望に立った教育計画の立案について研究を進めていく。



黒須大一郎 議員  
(隼人)

**問** 医療救護所はどこに  
被災ペットはどこへ

災害は、365日昼夜を問わず発生する。傷病人、妊産婦もいる。救護所は万全か。ペットとどこへ避難すればいいのか。避難所の運営をその場任せでいいのか。日頃から市内の医師会、獣医師会や事業所などとの協力は、順調なのか。公は、地元を支える姿勢を。

**答** 地域や関係機関との  
連携強化に努める

救護所や避難所の運営、ペット同行避難への対応など、市単独の災害対応には限界がある。平時からの備えとして、自主防災組織などの地域住民や、医療機関などの関係機関との連携強化に努めるとともに、そのための情報交換や訓練の実施などの取組を継続する。



**問** 犬、猫殺処分ゼロ対策を

殺処分を減らす対策は、引き取り先を確保することである。保護する避難所の整備を進め、保護団体と連携して、譲渡会を開催する考えはないか。また、高齢化などで飼育が不可能となる場合がある。担当課に相談窓口を設置する考えはないか。

**答** ボランティア団体などの  
支援をしていく

市では、保護シェルター（避難所）の整備がおずかしいため、ボランティア団体などの民間団体から避難所の設置や譲渡会の開催について相談があった際には、積極的に支援していく。動物の適正飼養および終生飼養などの相談については、環境課で対応していく。



高木隆三 議員  
(公明党)

**問** 乳幼児の家庭内事故  
防止対策を

平成18年9月議会の一般質問で取り上げた。生活環境も変わり乳幼児の事故も多様化している。その後の対応は。また、葛飾区では、乳幼児健診が行われる健康プラザに「ヒヤリハットジオラマ」を設置して、注目されている。当市において設置する考えはないか。

**答** 発達に応じた啓発と  
注意喚起を行う

各健診時などには発達に応じた啓発をしている。また、0歳児の事故発生が多いことから、赤ちゃん訪問において具体的な事故の発生状況や対応策のパンフレットを配布し啓発している。今後は、掲示物の見直しを行い、よりわかりやすい注意喚起に努めていく。





江原浩之 議員  
(隼人)

**問** 白岡駅西口線は

白岡駅西口線が開通すれば、市民が日常的に利用し、都市の骨格を形成し、中心市街地をはじめ都市の発展に大きく寄与する。事業認可区間の進捗状況は。次に、事業認可区間の東側について、県道の付替え路線として、県に整備をしてもらうよう働きかけの状況は。

**答** 全線の事業化に向けた検討を行う

事業認可区間は用地買収が完了する見通しで、来年度から道路築造工事に着手する予定である。

県道の付替えについてはむしろ好ましい状況であるが、今後も継続して要望していくとともに、さまざまな角度から検討を行い、早期の全線完成を目指す。

**問** 市の公共施設のマネジメントは

公共施設のマネジメントについて、白書、公共施設等総合管理計画と段階的に策定している。個別施設計画の内容と策定の進捗状況は。次に、旧庁舎は、空き施設となっている。早期撤去が望ましいが、旧庁舎の今後の取り扱いはどうするのか。

**答** 計画的に管理していく

個別施設計画は、公共施設の状況を調査し、長寿命化などの対策を図るものである。橋梁、上下水道、公園は策定済みである。その他の施設は、31年度中に策定する予定である。旧庁舎は、安全面や防犯上の観点から、来年度中に撤去する予定である。



旧庁舎



井上日出巳議員  
(創政会)

**問** SAITAMA出会いサポートセンター

埼玉県では、真に結婚を希望する人に、出会いの機会を提供し、交際から結婚までサポートするSAITAMA出会いサポートセンター事業を行っている。サポートセンター会員となっている市町村の住民は登録料が割引となる。当市も会員となつてはいかがか。

**答** 効果などの把握に努め参加を考えていく

この事業は、行政、企業などが連携し、結婚希望者が主体的に活動しやすい環境づくりの推進を目的に実施されている。SAITAMA出会いサポートセンター運営協議会への参加は、事業の進捗や協議会の活動状況の把握に努め、効果を確認しながら考えていく。

**問** 農業問題

農業は、農地を耕作するだけではできない。共用部分の草刈りや水路のさらいなどは、共同でやらなければならない。農地中間管理機構の借り手はこれをしないという。また、耕作しやすい所しか借りないという。この現状で人と農地の問題解決ができるのか。

**答** 今後も借り手の掘り起こしを行っていく

この問題は今後、拡大することが懸念される。市では、多面的機能活動組織の設立を促進し、地域の活性化につながっていければと考えている。また、農業委員などと連携し、借り手の掘り起こしを積極的に行い、今後も集積率を上げるため努力していきたい。



## 問 ICT教育への取組は

近年めまぐるしく変化するIT社会で、正しい知識を身につけていかなければならない。それには、小・中学校においてICT教育に力を入れていくべきと考えるが、当市の現状は。また、国からの指導に照らしどう進めているか。さらに、今後の方針と展開は。

## 答 計画的な整備でICT環境の充実を図る

各学校にICT環境を整備し、授業などで活用している。今後は長期的な展望に立った機器の整備を進め、国が示した基準を満たすよう努める。また、教員の指導力向上のため研修を実施し、児童生徒が情報モラル、情報活用能力を身につけられるよう指導していく。



大島 勉 議員  
(創政会)

## 問 市民を守る防災



市民を守る防災は、市で取り組む最前線の事業と考える。しかし、市民の皆さんに伝わっていないことが多々あるようである。市として周知はどのように行なっているか。また、避難所の設置は十分と考えるか。さらに、非常放送が届かない場所はどう対応するのか。

## 答 災害時、適時適切な避難行動を促す

ハザードマップを活用し、職員出前講座や広報紙などで、引き続き周知・啓発していく。今後も他自治体との協定などによる広域的な避難支援体制づくりに努める。防災行政無線のほか、複数の情報伝達手段の充実・強化と地域ネットワークの活用を継続していく。

## 問 学習支援事業を小学生まで

学習支援事業は、貧困の連鎖を絶ちきるため有効な施策として評価されている。市はこの事業を懸案であった市内で開催できるようになった。これからの課題として、小学生の学力の壁を突破する助けとして、事業を小学生までに拡大したらいかがか。

## 答 今後も学習支援事業の充実を図る

現在のところ、小学生までの事業拡大の予定はないが、早い段階での支援は有効なことと認識している。

埼玉県が実施しているモデル事業の成果を注視し、今後取り組むべき課題として捉えるとともに現在の事業の充実を図る。



関口昌男 議員  
(日本共産党)

## 問 国民健康保険税の引き下げを



国民健康保険が都道府県化され、市の保険税は大幅引き上げになった。これを改善するには、全国知事会が要望するように国費の大幅引き上げしかない。しかし、当面の処置として、繰入金を活用して多子世帯の軽減措置など加入者の負担軽減を図ったらどうか。

## 答 医療費などの動向から適切に対応する

子どもに係る均等割額を軽減する支援制度の創設は、税と社会保障の一体改革として国で議論されるべきものであると考えている。今後の繰り入れについては、税負担の公平性や医療費水準、所得水準の動向などを踏まえ、適切に対応していく。





遠藤 誠 議員  
(無所属)

**問** シニアが活躍するために

この事業は、シルバー人材センターの事業と重なっている。当センターの現況で新しい人材が満足のいく活動の場としていけるか。社会福祉協議会、シルバー人材センターなど、公共的団体は精神的達成感が得られる活動の充実が求められるのではないかと考える。

**答** 社会貢献意識などを涵養していく

シルバー人材センターは、シニア世代の方が社会貢献活動や生きがいづくりなどを行う受け皿としての役割を担っていただけると考えている。また、受け皿となる団体には、社会貢献意識や参画意識を涵養する事業を展開していただくことが望ましいと考えている。

**問** 貸農園の活用を

市内に貸農園はどのくらいあるのか。地権者は税などの経済的理由や、荒廃させないために工夫している。さらに手法により補助金などもある。農地を保全するために貸農園を活用すべきではないか。膨大な農地の保全は、喫緊の課題であり早急に対策をすべきである。

**答** 農業法人などへの集積を優先していく

市が管理している市民農園1か所のほか、民間の貸農園が約50か所あると思われる。農地の保全は、農業法人などの大規模耕作が可能な農業者への利用集積を進めることを優先し行っていく。大規模耕作に向かない農地は貸農園も有効でないかと考える。



貸農園



石原富子議員  
(開白会)

**問** 白岡高校をさらに盛り上げるために

県は2029年までに県立高校を今より1割減らす再編整備計画を発表。市内唯一の白岡高校がその対象にならないよう、学校自らが改革の意思を持ち、PTAや同窓会・後援会と共通認識の上で、今まで以上に地域と密着した高校に盛り上げるための方策を伺う。

**答** 魅力ある学校づくりを支援していく

白岡高校は、生徒が市の事業や地域活動に積極的に参加するなど、本市にとってかけがえのない存在である。市では、学校の魅力がさらに高まる効果的な取組を、市民や学校関係者の皆様など、「オール白岡」で支援していくことが重要であると考えている。

**問** 手話言語条例の制定を

聴覚障害者にとって手話の普及は日常生活や就業時、特に災害時においては必要不可欠なものだが、まだまだ十分とは言えない。障害者差別解消法が施行されて、全国的にも、また埼玉県や県内各市で制定の動きが広がっている。白岡市でも条例制定をしてはどうか。

**答** 手話言語条例を制定していく

条例の制定は、手話の普及と手話によるコミュニケーション確保の推進に大変有効である。

また、手話が言語であることを理解することは、聴覚に障がいのある方の社会参加の促進につながることから、手話言語条例を制定していく。



**問** 多面的機能支払交付金の活用を

近年は農村地域の高齢化や人口減少などのため、地域の共同作業による多面的機能の発揮に支障が生じている。当制度は、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を支援しているが、当市の活用状況は。また、活動組織の拡大策として農業者以外の方へのPRは。

**答** 今後も制度の情報を地域に発信していく

国では、基礎的な農村環境の保全活動を行う組織に対して、交付金を交付している。当市では、現在6つの組織が活動しており、農業者以外の方も含め、地域ぐるみで環境保全に取り組んでいる。今後も制度の情報を地域の皆様に発信していきたい。



松本栄一 議員  
(創政会)



市道104号線

**問** 生活道路の安全確保を

生活道路において蓋架け済の側溝や路側線は、歩行者や自転車が車との接触を避ける場所でもある。彦兵衛地内から宮代町へつながる市道104号線は、車の通行量が増え、未整備の区間は危険な状況である。側溝の蓋架けの進捗状況と路側線の整備計画は。

**答** 段階的な対応をしていく

本路線の側溝の蓋架けの状況は、住宅区域はおおむね完了している。宮代町方面の区間は、周辺が農地であり未整備であるが、市内には未着手路線が多数あり、早期の対応はむずかしい状況である。安全対策として、まずは路側線の設置を検討する。

**問** 白岡駅西口の開発計画は

白岡駅東口は、区画整理事業により、開発が進んでいる。西口の一部でも買収が進んでいるが、白岡駅西口ロータリーを含めた付近の計画、開発の進捗状況について伺う。

**答** 「にぎわいの創出」を目指す

白岡駅西口駅前広場を含む白岡駅西口線の整備は、用地買収方式で進めている。西口周辺は、事業推進により生活の利便向上や交通の安全確保、さらには宅地の利用増進を図る。これらの事業効果により、市の中心としてふさわしい「にぎわいの創出」を目指す。



大倉秀夫 議員  
(白新会)



通学風景

**問** 小学生にランドセルの無償貸与を

児童生徒の登下校における持ち物の重さについて、どのような配慮をしているかを伺う。また、ランドセルは頑丈で質も良くなり容積も増えている。ランドセルメーカーも対策を講じ始めているが、軽いランドセルの貸与や無償化を検討してはどうか。

**答** 登下校における持ち物への配慮を行う

持ち物については、家庭学習として使わないものは、学校で保管するなどの配慮をしている。ランドセルは、個人により背負った感じや好みの問題もあり、教育委員会での貸与または無償化はむずかしい。引き続き、持ち物への配慮を行うよう学校へ指導していく。



渡辺聡一郎 議員  
(創政会)

**問** 白岡中学校周辺地区  
開発の財政見通しは

白岡中学校周辺地区の土地利用に係る事業費のシミュレーションをどのように立てているか。総事業費の見通しや市の事業支出は。また当事業による経済的な波及効果をどの程度見込んでいるか。地域経済の活性化と将来の経済効果を見据えた事業計画が必要では。

**答** 現時点で見通すことは  
むずかしい

総事業費と市の財政負担を含めた基本方針が定まった段階で、市の負担額が明らかになる。経済波及効果として、固定資産税、市民税などの増加を期待している。その他、周辺区域の資産価値の上昇や、隣接する市街化区域内の宅地利用の増進なども期待している。

**問** 安全な歩道確保と  
道路整備の優先順位を

安全な歩道整備を進めていく必要がある。白岡駅周辺や旧市街地も歩道が少なく危険な状態である。歩道設置率を向上させ安全な歩行空間を確保していくことが必要ではないか。また限られた予算の中、道路整備の優先順位を明確化していく必要があると考えるが。

**答** 歩行者空間の  
確保に努める

歩行者空間は、幹線道路の歩道整備およびその他道路の利用形態を踏まえた路側線設置などにより確保していく。道路整備の優先順位について、幹線道路は白岡駅西口線、白岡駅東口線および白岡宮代線、生活道路は地域の陳情や要望を踏まえた整備を実施していく。



安全な歩道確保を



斎藤信治 議員  
(開白会)

**問** 授業のユニバーサル  
デザイン化推進を

歩行に困難な人のために設置されたエレベーターは、多くの人々が利用している。同じように、困難を抱えて授業に集中できない子どもたちのために考案されたUD(ユニバーサルデザイン)は、通常の子どもたちにも有効である。全小・中学校に、UDの推進を。

**答** 教職員の知識や技能を  
高めていく

どの子どもに対してもわかりやすいUDを意識した授業を行うためには、すべての教職員が特別支援教育に関する知識や技能を有することが必要である。今後は、UDを意識した授業を実施できる教員を育成するための研修を実施し、市の教育の充実に努めていく。

**議会日誌**

**11月**

- 12・13日 文教厚生常任委員会・議会広報常任委員会の合同行政視察
- 19日 総務常任委員会
- 22日 議会運営委員会
- 29日 第4回議会定例会

**12月**

- 3日 第4回議会定例会
- 4日 第4回議会定例会
- 5日 第4回議会定例会
- 7日 第4回議会定例会  
議会広報常任委員会
- 11日 産業建設常任委員会
- 12日 総務常任委員会

- 13日 文教厚生常任委員会
- 19日 第4回議会定例会
- 26日 議会広報常任委員会
- 27日 蓮田白岡衛生組合議会の定例会

**1月**

- 9日 議会広報常任委員会
- 18日 埼玉東部消防組合議会の臨時会

# 委員会活動報告 先進地などへ視察調査

## 総務常任委員会

## 若者議会について

10月18日

愛知県新城市<sup>しんしろ</sup>

新城市では、26年度から若者政策に取り組み始め、高校生や大学生を交えたワークショップ「若者政策ワーキング」を経て、全国初となる「新城市若者条例」と「新城市若者議会条例」を制定しました。

27年度には、若者の力を生かすまちづくり政策を検討することを目的に、若者議会が設置されました。

若者議会は、市内の若者が市長の諮問に応じ、若者総合政策の策定と実施に関する事項を調査審議し、その結果を市長に答申する組織です。委員は、16歳から29歳ごろまでの市内在住・在学・在勤の20名の若者で、報酬も支払われています。

若者議会には、毎年1,000万円の予算が与えられ、企画・立案した事業は市長に答申し、市議会の承認を経た上で、市の事業として実際に実施されています。

具体的には、図書館リノベーション事業、若者防災意識向上事業、いきいき健康づくり事業など多岐にわたっています。どれも若者らしい感性を生かした事業が多く、まちづくりに新しい視点を取り入れられていると感じました。

近年は、若者の政治離れや投票率の低下が問題とされています。こうした取組を進めることで、少しでも政治やまちづくりに関心を持ってもらえればと考えます。当市でも、現在、大学との連携により地域活性化事業などを行っていますが、若者と地域住民、市が連携し、活力のあるまちづくりを進めていく必要があると考えます。



## 産業建設常任委員会

## 貸農園について

10月30日

久喜市

久喜市では、都市住民が農に親しみ、農に対する理解を深めることを目的に、4園の市民農園を開設しています。今回、「しみん農園久喜」と「しみん農園菖蒲」の2園を視察しました。

久喜市の市民農園では、農園内に井戸や東屋、ベンチ、管理棟が設置され、また、料理実習室や加工室、バーベキュー施設なども整備されています。さらに、区画数も当市より多く、駐車場も広く確保され、農機具も充実しており、利用者への配慮がうかがえました。

当市でも、市民農園を1か所(60区画)開園し、市内在住・在勤のかたに限りご利用いただいています。今後も徐々に市民農園を増園

しながら、利用者枠を県内都市部のかたや東京都民にも拡大していき、農業による交流人口の増加を期待するものです。

市民農園の普及は、耕作者の減少している日本の農業の救世主とも考えられます。後継者不足などによる農地の荒廃を食い止めることを考えないといけない状況であります。今後、市民農園の普及、利用者のさらなる拡大に向けて、当市も一層力を入れていただくよう期待します。



## 文教厚生常任委員会

ICT教育について 11月12日 東京都多摩市  
英語教育の取組について 11月13日 静岡県沼津市

多摩市では、地元企業との連携で、学習ソフト（アプリ）を利用したり、プログラミング教育がなされたりと、児童生徒がタブレットを含めたICT機器を利用し、さまざまな能力育成が進められています。

特にアプリを使用することで、朝や放課後の補習ができ、分からなかったところの克服ができるシステムになっています。

また、SNSを利用する際、いじめ防止策や家庭でのルール作成を促していくなど、細部のケアにもしっかり取り組んでいました。

当市でも、今後の情報化社会に必要なICT教育にしっかり取り組んでいけるよう提言をしていきたいと考えます。

学習の充実にあたっては、これを活用する教員のスキルアップは必要不可欠であります。多摩市では、臨時職員として雇用しているICT支援員を各学校に派遣し、今後はさらに民間事業者のICTスペシャリストを派遣することも検討していました。

当市でも、ICT環境の動向を見極めながら、指導員を導入するなどして、教職員の初期負担軽減を図るべきであると考えます。

沼津市では、18年度に、児童生徒の言葉の乱れ、

言語環境の悪化、意思の疎通に欠く対人関係の不安定さを抱えている児童生徒の増加、論理的思考力を含む読解力の低下、グローバル化の進展に対応するために、独自の教科である「言語科」を導入しました。英語を楽しみながら学び、英語に慣れていく様子が分かりました。

特に副読本は、どの年代も楽しく学べる内容で、言語科を通じて市のことを知る機会にもなり、ごみの分別や介護保険の仕組みなど、生活に根差した英語教育が実践できていることに感心しました。

また、英語を試してみたい、使ってみたいからと、外国人に積極的に話しかけることで、コミュニケーション能力も向上し、人間的な成長も見られます。

これからの社会は、目先の結果だけでなく、子どもたちの未来を見据え、グローバル化し、ボーダーレス化する社会でどんな外国人にも通用するコミュニケーション能力を育成していくことを望みます。

そのために、積極的に人と関わる言語科の取組は必要不可欠な教育であると考えます。



## 議会広報常任委員会

## 議会広報紙の編集について

11月12日 東京都多摩市

多摩市の議会広報は、かつてはタブロイド判で発行していましたが、29年度からA4判冊子型のカラー化へと移行しています。それまでは、議会事務局が主体として編集などを行っていましたが、議会基本条例の制定を機に議会広報活動の充実の一環として取り組んでいます。

「手に取りやすく、見やすく、読みやすい。ページ全体がサッと視野に入る。」「ファイルがしやすく、必要があればバックナンバーを保存できる。図書館などでもファイリングがしやすい。」などというところにコンセプト

をおき、議会だよりを変更したそうです。

当市においても、コンセプトをしっかりとさせることは、大いに参考にすべき点だと考えます。

また、多摩市では、特集記事が組まれており、重要な議案にページが割かれ、焦点を絞っていました。広報に掲載されていない事項は、ホームページに掲載し、補っています。

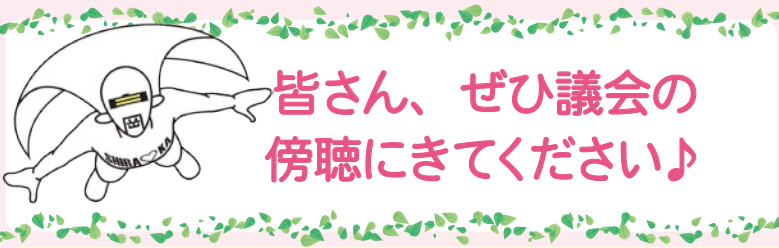
当市委員会でも、広報紙だけでなく、ホームページも含めた広報全体を見る目が必要であると考えます。

# 《12月定例議会の審議結果》

(○：賛成 ×：反対)

議席番号・議員名	1 井上日出巳	2 渡辺聡一郎	3 関口昌男	4 斎藤信治	5 松本栄一	6 細井公	7 大島勉	8 遠藤誠	9 黒須大一郎	10 大高馨	11 鬼久保二郎	12 野口克博	13 石原富子	14 大倉秀夫	15 江原浩之	16 菱沼あゆ美	17 高木隆三	18 藤井栄一郎	議決結果
件名																			
東海第二原子力発電所の運転期間延長を行わないことを求める意見書に関する請願書	○	○	×	×	○	×	○	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	—	趣旨採択 (意見書の提出なし)
人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	適任
人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	適任
空家等の適切な管理に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
空き地の環境保全に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
職員の給与に関する条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
コミュニティセンター条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
個人番号の利用に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
保育所設置及び管理に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
道路占用料徴収条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
法定外公共物管理条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
手数料条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
水道事業の設置等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
公民館条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
生涯学習施設整備基金条例の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
コミュニティセンター及び白岡市西児童館に係る指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
障害者デイサービスセンターに係る指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
B & G海洋センターに係る指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
平成30年度	一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	白岡駅東部中央土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※ 18番 藤井栄一郎議員は議長のため、採決には加わっていません。



皆さん、ぜひ議会の傍聴にきてください♪

## 12月定例議会傍聴者数

本会議 市内…81名 市外…4名  
合計…85名



早いもので、平成も終わりが近づいてきました。平成の30年間、皆さんはどのような思い出ができたでしょうか。私は、議員という貴重な経験ができたことが一番の財産です。

この議会だよりもずっと関わり、皆さんに議会でのことをお伝えできると同時に自分の再勉強の場でもあり、大変にありがたいことでした。これからも皆さんが読みたくなる紙面づくりを目指していきますので、よろしく願いいたします。(大島)

次回の定例会は  
**2月21日(木)**  
開会予定です。